

平成 15 年 3 月 17 日

J/24 理事会議事録

理事：畠山知己

日時：平成 15 年 3 月 15 日（土） 11:00～15:00

場所：(株)ベーシックシステム 6 階会議室

出席者：中澤信夫、久保田悟、生原庫治、高野ユンタ、宮崎正弘、
早川俊克、肥後秀明、畠山知己 以上 8 名

欠席者：横田順一、岩出彰、永信修治、越智章夫 以上 4 名

1、事務局より 2002 年度報告(事務局上原様)

●会員数 294 名（正会員 99 名、準会員 195 名）

●会計報告 収入	前年度繰越	12,653,505 円
	会費	2,267,000 円（01 年度会員数 453 名）
	販売	85,500 円（ロイヤリティータグ 57 枚）
	レース	200,000 円（日産マリーン(株)援助金）
	他	897,482 円（利息、JSAF 登録関連）
	<u>合計</u>	<u>3,449,982 円</u>
支出	レース支援	700,000 円（レース支援金）
	JSAF 登録	821,000 円
	IJCA	926,267 円（会費、J マガジン購入、タグ）
	経費	1,211,426 円（手数料、業務委託、事務通信費他）
	<u>合計</u>	<u>3,658,693 円</u>
	<u>本年度収支</u>	<u>-208,711 円</u>
	仮払い費用	5,023 円（事務局預かり）
	<u>次年度繰越高</u>	<u>12,439,771 円</u>

●2003 年度 J/24 協会組織図（別紙参照）

●2003 年度 J/24 協会理事名簿（別紙参照）

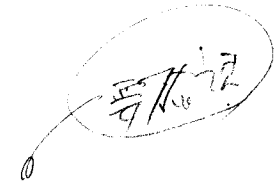
●2003 年度 J/24 年間活動計画…JSAF 提出のため

●総合賠償責任保険…JSAF へ年間活動計画と共に提出します。その際、各レースが行われることが事前にわかれば、累進方式なので追加事前申請が可能です。レースが行われることがわかればご連絡をお願い致します。

* 保険内容については、詳細を JSAF に再度確認することになった。

●JSAF より、ビデオの提供がありました。J/24 協会に問い合わせ頂ければレンタルも可能（別途費用発生）。

●監査役が現在一人なので、二人体制を考えているので是非もう一人推薦していただきたい。



2、各フリートの活動報告

●関東フリート（畠山知己）

- ① 1月25・26日に計測講習会（京急マリーナにて）19名参加で行われました。
- ② 3月9日に今年1回目のフリートレースがあったのですが、強風のため中止。
- ③ 来月4月13日に予定しております（年間予定はHP参照）。

●東海フリート（早川俊克）

- ④ 昨年蒲郡ラグーナマリーナが出来たため、日産東海マリーナからの移動が多くなっている。しかし、ラグーナではレースなどの活動は一切行わせないとのこと。
- ⑤ 夏に日産東海マリーナをベースにレースを行う予定。
- ⑥ 現在稼働しているのは、グレース・フォルデフォン・薬師丸の3艇。

●九州フリート（宮崎正弘）

- ⑦ 現在フリートレースは2回終了。
- ⑧ ミッドウインターレースも2月9・10・11日で無事に終えた（HP参照）。
- ⑨ 年間レース予定 3月30日、4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日、9月28日、10月13日、11月23日、12月14日以上です。
- ⑩ 新規参入を予定しているチームがあります。
- ⑪ 全日本選手権はマンタ、アポロニア、ミネルバが参加できるのではないかと。
- ⑫ 活動艇数は最大で8艇です。

●関西フリートは欠席の報告なし。

3、世界選手権参加チームの報告（畠山知己）

- 1月22日に昨年の全日本選手権上位10チームに世界選手権参加意思確認の文章を会長名で郵送しました。2月28日締め切りにてファックスで返事がありましたので報告します。

*参加チーム	シエスタコスモス	蔵道様	マリンズマン
	サンタブラック	高木様	//
	帆省海	戸叶様	//
ヒヨドリ	橙青	野上様	//

<注>スレッドは参加します。隠れりんごも参加する出場はなし

<注2>シエスタローザ、クラリス、紀州ヨット少年団、リップル、オリーブの各チームからは参加しない意思を頂戴しております。

<注3>参加資格はチームとヘルムスマンが同一なおかつメンバー3名以上が参加条件になります。

<注4>今回1枠残っているので、繰上げで11位の月光 Jr.に決定しました。万が一参加出来なくなったチームがあった場合は12位以降が繰り上がることになりました。

4、 全日本選手権準備状況報告（久保田悟）－詳細別紙参照

- 開催場所：佐島マリーナ
- 日時：2003年11月19日（水）計測
11月20日（木）計測&プラクティス
11月21～24日（金）～（月）レース
- 参加料：80000円（前回大会と同額）
- 予算は30艇エントリーで計算
- 参加見込数：30～35艇
- 計測関連：19～20日に行う予定の計測は出来るだけ簡素化を検討している。後日計測委員会との間で決定する。事前に内容を公表する。

<注>佐島マリーナに搬出入の関係で一部サニーサイドマリーナへの搬入・下架し佐島へ回航を予定している。

5、 計測委員会から方向性について－詳細別紙参照

- 計測証明書について、前回理事会でもパーマネント化をしなくてはならないと提案されていたことで、今後は計測委員会から方法については提案をしていただき理事会で承認を得る形になった。
- 具体的には例として、過去の計測証明書＋パートABCに協会の割印をしてパーネントとして以後レガッタ計測、計測委員会から指示があったポイントの書類を添付する方法や、「〇〇年度以降の計測証明書を適用する」などといった意見が出た。
- 今後のルール変更などがあった場合は追記する方式をとる。
- 以上のパーマネント化したものは、原本はオーナー（ボート）、コピーは計測委員会で管理すること。
- これらを踏まえて、公式計測証明書は具体的に計測委員会で協議していただくことになった。
- 計測ポイント（レガッタ計測以外）－計測委員会からのポイント
*ニューセイル *フォアステイ *スプレッダー振角 *ジェイポイント *ロアバンド *キール *ラダー *ライフライン *デッキポイント 計測時1回は計測員が必ず計測を行う
- 現場で行う計測については、ボランティアで計測を行うことを確認。
- 今年で関東で行われる全日本選手権ではフル計測をできるようにしていただきたい。
- 計測委員増員について、1月に開催した計測講習会の試験結果を踏まえて下記6名を推薦。。
九州フリート岡部^氏様、名方^氏様。
関東フリート相澤^氏様、原^氏様、堀^氏様、畠山^氏様以上6名。また、栗原君に関しては前前回のワールドにてIJCAより資格が与えられております。
以上、7名増員のが承認がおりました。しかし、原様は諸事情の関係で承認は保留になりました。

- 計測講習会の結果は HP にてお知らせ致します。

6、 今後 J/24 協会会員数の増加について

- 各フリートにて情報の共有化が必要ではないか。各エリアへの就職・転勤などした際は そのフリートに情報を流し、J/24 の活動が出来るように斡旋してあげてはいかがでしょうか。若手を増やす意味でも、紹介されればお互いに入りやすい環境になるのではないかとのこと。
- 関東フリートは、仰秀・明治学院大学ヨット部などと Give&Take を行う様にしており活動も活発になっている。今後は学生のレースに協力することでこれ以外での関東にいる若い人材を確保できると考えております。
- 手軽に遠征をすることにより、全日本選手権以外で他水域と交流が出来ることで継続できる要素ではないかと思えます。例としては、九州の博多ミッドウインターなど。
- この問題は非常に重要です。会員数が減れば、ワールドに参加する枠も比例して減る直接の原因になりますので、会員の方も協力していただきたいと思っております。

7、 その他

- JJCA から IJCA には 294 名分の協会会員費を支払う。
- 今後は各会員事にナンバーと名前を IJCA に提出しなくてはいけなくなった。IJCA が管理したいのが理由。
- J マガジンは 110 冊（正会員＋不測の予備）を発注する。

以上